

北薩摩の古道 薩摩街道 出水筋 歩行マップ

阿嶋嶺
危礁乱立大濤間
決皆西南不見山
鶻影低迷帆影没
天連水處是台湾
頼山陽



球体の巨大なアンテナ (阿久根受信管制局) が見えます。

遠くに長島が見えます。(鶴翔高校付近)

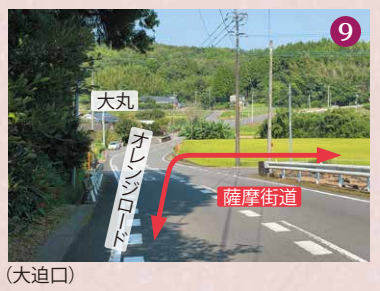


街道から一路、海側の道
このあたりまで砂浜が広
がり、松林が続いていま
した。名残りの防波堤跡

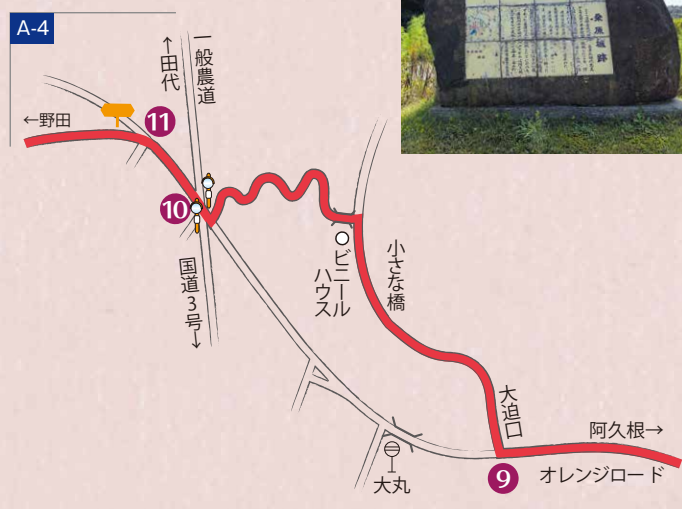


桑原城跡

鎌倉時代初期、島津氏初代・忠
久が高尾野の木ノ牟礼城を拠城
とした頃、阿久根の豪族、莫祿
氏に備えた山城であったといわ
れています。一時期、入来院氏の
手に落ちましたが、やがて薩州
島津氏が奪い返し、その一族の島
津但馬守の拠城となったと伝え
られています。



このあたりではいちばん
高いところです。



14 大日集落の仁王像

東西永林寺(一三九六年感応寺の末寺として天
窓和尚開山)の山門にあったものを明治二年の
廃仏毀釈によって現在の場所に移されたものと
思われます。刻銘不詳ですが、像の大き
さ、体形、石質等から推測すると、感応寺正面
入口のものと同型と思われる、作者も同じと思わ
れます。感応寺像の背面に寛延四(一七五二)年
とあり、同世代のものとも推測されます。

